

# 所蔵作品展「近代日本の美術」

東京国立近代美術館 本館(4F～2F、1F特設ギャラリー)  
2009年1月20日[火] - 3月8日[日]

所蔵作品展「近代日本の美術」の中から、今回の見どころについて、お知らせいたします。

開館時間	午前10時から午後5時まで 金曜日は午後8時まで(入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜日
主催	東京国立近代美術館
会場	東京国立近代美術館 (4F～2F、1F特設ギャラリー) 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
アクセス	東京メトロ東西線竹橋駅1b出口 徒歩3分
観覧料	一般420(210)円 大学生130(70)円 高校生以下および18歳未満、キャンパスメンバーズ、MOMATパスポートをお持ちの方、65歳以上および障害者手帳をお持ちの方(要提示)とその付添者(1名)は無料。( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。 *本展の観覧券で、当日に限り、「コラージュ - 切断と再構築による創造」展(2Fギャラリー4)をご観覧いただくことができます。
無料観覧日	2月1日(日)、3月1日(日)('コラージュ'展および所蔵作品展「近代日本の美術」のみ)
お問合せ	03-5777-8600(ハローダイヤル) <a href="http://www.momat.go.jp">http://www.momat.go.jp</a> (ホームページ)
同時開催	「高梨豊 光のフィールドノート」展 企画展ギャラリー(1F) 観覧料:一般850(600)円、大学生450(250)円。高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方(要提示)とその付添者(1名)は無料。( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 *「高梨豊」展観覧券で当日に限り、「コラージュ」展および所蔵作品展「近代日本の美術」をご観覧いただけます。 「コラージュ - 切断と再構築による創造」(2Fギャラリー4) 観覧料:一般420(210)円 大学生130(70)円 高校生以下および18歳未満、キャンパスメンバーズ、MOMATパスポートをお持ちの方、65歳以上および障害者手帳をお持ちの方(要提示)とその付添者(1名)は無料 ( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込

プレス用イメージ・取材、展覧会内容など報道関係のお問合せ先:美術課広報窓口

TEL: 03-3214-2561(代) / FAX: 03-3214-2576

e-mail: [pr-f@momat.go.jp](mailto:pr-f@momat.go.jp)

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1

## 所蔵作品展「近代日本の美術」概要

## 所蔵作品展「近代日本の美術」とは？

およそ2600平方メートルからなる所蔵品ギャラリーで開催する所蔵作品展「近代日本の美術」。絵画・彫刻・水彩・素描・版画・写真など、約9,600点あるコレクションから、毎回180～250点の作品を選び、20世紀初頭から現代に至る日本の近代美術の流れが概観できるよう展示しています。ゆっくりと全体をご覧いただいで約1時間。コレクションと向かい合うひとときをどうぞお楽しみください。

展示替：年間4～5回程度大きく作品を入れ替えています（会期によっては、さらに日本画を中心とした一部展示替があります。）。

コーナー展示：特集コーナー（4F）、写真コーナー（3F）、版画[水彩・素描]コーナー（3F）では、毎回さまざまな切り口で、特集展示を行っています。



東京国立近代美術館本館外観

撮影：上野則宏



過去の4F会場風景

撮影：上野則宏

## 展示構成

4階から始まり、2階まで時代順にフロアを下っていく構成になっています。

## 4F

- I - 1 明治・大正期の美術 文展開設前後
- I - 2 明治・大正期の美術 大正のヒューマニズム
- II - 1 昭和戦前期の美術 都市のなかの芸術家
- \* 特集コーナー「光と墨の水墨画 近藤浩一路の世界」

## 3F

- II - 2 昭和戦前期の美術 日本画・洋画の成熟
- III 戦時と「戦後」の美術
- IV 1950-60年代の美術
- \* 版画コーナー
- \* 写真コーナー

## 2F

- V 現代美術 - 1970年代以降

## 1F特設ギャラリー

「特別公開  
横山大観《生々流転》(重要文化財)」

## 見どころその1

全長40m、一挙公開！

特別公開

横山大観《生々流転》(重要文化財)

(1F特設ギャラリー)

Masterpiece from the Collection (1F)

Taikan Yokoyama, *Metempsychosis* (Important Cultural Property)

横山大観《生々流転》(部分) 1923(大正12)年 絹本墨画 画卷 55.3×4070.0cm 東京国立近代美術館蔵 重要文化財 【画像提供は紙面掲載のみ、webは不可】

1F特設ギャラリーで、横山大観の長大な画卷《生々流転(せいせいりてん)》(重要文化財)を特別公開いたします。当館での全巻展示は2年ぶりになります。

《生々流転》は大気中の水蒸気からできた1粒の水滴が川をなし海へ注ぎ、やがて龍となり天へ昇るという水の一生を、40メートルにもおよぶ大変長い画面に水墨で描かれた作品です。

作者の横山大観は岡倉天心のもとで、菱田春草、下村観山らとともに近代日本画の革新を目指し、東洋の精神を基盤に西洋画の手法を取り込みながら、新しい表現様式を追求しました。輪郭線を使わず、色彩の面的な広がりにより空気を描こうとした朦朧体(もうろうたい)の技法などはその代表的な例といえるでしょう。

《生々流転》は大観55歳の作で、長大な画面にもかかわらず、どこにも破綻のない完璧な構成によって組み立てられた密度の高い作品です。

「生々流転」とは「万物は永遠に生死を繰り返し、絶えず移り変わってゆくこと」という意味の言葉です。大観の《生々流転》にも、繰り返し姿を変えながら終わることのない水の生涯が描かれています。彼の壮大な自然観や人生観をも読み取れるダイナミックな作品ですが、一方で画面のところどころに鹿や猿などの生きもの、川に舟を浮かべる人などの小さなモチーフが描きこまれ、ささやかな生命に対する温かい眼差しもうかがうことができます。壮大なスケールを持つ《生々流転》の魅力をぜひご堪能ください。

## 横山大観(1868 - 1958) 略歴

茨城県水戸市の生まれ、本名秀麿。1889年開校の東京美術学校に第一期生として入学しました。93年に同校を卒業後、助教授となりましたが、98年岡倉天心に殉じて連袂辞職し、日本美術院の創立に参加しました。天心の没後、1914年に下村観山らと日本美術院を再興し、天心の遺志を継いで院の運営と発展に力を尽くしました。37年、文化勲章を受章。

## 見どころその2

## 特集「光と墨の水墨画 近藤浩一路の世界」(4F特集コーナー)



近藤浩一路(鵜飼六題(飛汀))1923(大正12)年 紙本墨画 額53.0×259.0cm 東京国立近代美術館蔵

洋画家として出発し、漫画や挿絵で人気を博しながら、水墨画に転じた異色の画家、近藤浩一路。光に対する鋭敏な感覚を生来持ち合わせ、生彩に富んだ水墨画で独自の境地を拓きました。鵜(う)を使って鮎などの魚をとる伝統漁法の一つ、鵜飼を描いた(鵜飼六題)(1923年)は、漁の準備段階から漁を終えるまでの過程を、画卷を意識したような横長の画面6面に描いた浩一路の出世作です。闇夜にともる篝(かがり)火のもと、鵜と鵜匠が繰り広げる漁の緩急あふれる動きを、墨のにじみやぼかしを駆使し、光と影の対照のうちに劇的にとらえています。同じ再興第10回院展に出品された大観(生々流転)とともに、水墨画の新生面を印象づけました。この良きライバル関係の水墨画の大作は、奇しくもともにその東京展初日に関東大震災に遭遇しましたが、無事難を逃れ、当館の所蔵するところとなっています。今会期は、大観の(生々流転)と浩一路の(鵜飼六題)という水墨画の大作を比較しながら、ご覧いただける絶好のチャンスです。

また、特集コーナーでは、(鵜飼六題)以外の作品を含め、大正から戦後にいたるまでの約10点により、近藤浩一路の水墨画の世界の魅力をお見せします。

## 近藤浩一路(1884 - 1962) 略歴

山梨県の生まれ、本名浩(こう)。少年期を静岡で過ごしたのち上京。東京美術学校西洋画科に学び、白馬会、文展などに出品し、洋画家として出発。また新聞雑誌に挿絵や漫画を描き、人気を博しました。平福百穂、川端龍子や小川芋銭らとの親交を結び、親睦的な画家たちの日本画研究グループ「珊瑚会」に参加、水墨画制作に重心を置くようになりました。1919年日本画の作品で第6回再興院展に初入選、1921年同人に推挙。1922年フランス、中国へ旅行。1931年再び短期間渡仏し、アンドレ・マルローと交友。1936年院展を脱退後は、個展を中心に作品を発表しました。

## 見どころその3

\*大観と並び、近代日本画の革新を目指した菱田春草《賢首菩薩》をはじめ、当館の誇る重要文化財も見逃せません。

菱田春草(賢首菩薩(けんしゅぼさつ))1907(明治40)年 絹本彩色 軸185.7×99.5cm 東京国立近代美術館蔵 重要文化財



コレクションとともに、ゆっくりと心豊かな時間を美術館で過ごしてみませんか。

FAX送信票

200 年 月 日

To: 東京国立近代美術館 美術課 広報担当係行 (FAX : 03-3214-2576)

広報用写真借用申込書

## 所蔵作品展「近代日本の美術」

2009年1月20日(火) ~ 3月8日(日) 東京国立近代美術館  
(4F~2F、1F特設ギャラリー)

下記の条件をよくお読みの上、表の空欄に 印をお付けください。

\* 画像データ(JPEG)でお貸出いたします。その際、一緒にお送りするキャプションを必ずご確認ください。

\* 掲載前に、校正紙をお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。

貴社名 \_\_\_\_\_ 御依頼者氏名 \_\_\_\_\_

御住所 〒 \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_ (内線 \_\_\_\_\_) FAX: \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_

出版物・放送番組名(含: 扱い、コーナー名等)

種別: ( 印をつけてください) TV ラジオ 雑誌 新聞 フリーペーパー ネット媒体  
携帯媒体 その他 \_\_\_\_\_

発行・放送予定日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 ~ \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

	東京国立近代美術館本館外観 撮影: 上野則宏
	過去の4F会場風景 撮影: 上野則宏
	横山大観《生々流転》1923(大正12)年 絹本墨画 画卷 55.3×4070.0cm 東京国立近代美術館蔵 重要文化財【画像提供は紙面掲載のみ、webは不可】
	近藤浩一路《鶉飼六題(飛汀)》1923(大正12)年 紙本墨画 額 53.0×259.0cm 東京国立近代美術館蔵
	菱田春草《賢首菩薩(けんしゅぼさつ)》1907(明治40)年 絹本彩色 軸 185.7×99.5cm 東京国立近代美術館蔵 重要文化財

## &lt; プレス・イメージ貸出条件 &gt;

1. 写真は、展覧会および美術館紹介の目的のみご使用ください。使用后、画像データは消去してください。
2. 展覧会の名称、期間、会場は、適切な場所、大きさを明示していただくようお願いいたします。
3. 写真を掲載される際には、イメージ貸出時に添付するクレジットをご記載ください。
4. データを第三者に渡すことは禁じます。
5. 掲載紙(誌)は、1冊、美術課宛にご寄贈ください。webサイトの場合は、掲載時にお知らせください。